

# 平成24年保育士試験問題


## 小児保健

(選択式20問)

指示があるまで開かないこと

### 解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名・会場名・教室名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル（HB～B）で、濃くはっきりとマークすること。  
鉛筆・シャープペンシル以外での記入は、0点になる場合があります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、子どもの標準的な発育（成長）・発達に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 身体が形態的に大きくなることを発育（成長）という。
- 2 運動面での機能的成熟のことを発育（成長）という。
- 3 知的及び精神的機能の成熟を心理的発育（成長）という。
- 4 発育（成長）は、子どもにおいて一様におこる。
- 5 発達は、一定の歩調で進行する。

問2 次の文は、保育所での子どもの健康についての記述である。「保育所保育指針」第3章「保育の内容」に照らして適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所では、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
- B 保育所では、一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。
- C 保育所では、一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。
- D 保育所では、明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。
- E 保育所では、自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | × | × |

問3 次の文は、Scammon の器官別発育曲線に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 一般型は、呼吸器、心臓・血管、骨、筋肉などの臓器の発育を示す。
- B リンパ系型は、リンパ節や扁桃など、免疫系に関わる器官の発育を示し、10~12 歳頃に最大値を示す。
- C 神経型は、運動機能の発達と同様に学童期に急激な増加を示す。
- D 生殖型は、生殖器の発育を示すが、一般型と同様に乳幼児期早期に急激な増加を示す。
- E Scammon の器官別発育曲線は、新生児の値を 100 として年齢による変化を示している。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B D
- 4 C E
- 5 D E

問4 次の文は、子どもの年月齢による区分についての記述である。誤ったものを一つ選びなさい。

- 1 新生児とは、出生後 28 日未満をいう。
- 2 乳児とは、出生後 1 年未満（新生児期を含む）をいう。
- 3 幼児とは、出生後 1 年以上小学校就学前をいう。
- 4 学童とは、主として小学生をいう。
- 5 思春期とは、12 歳以上 16 歳未満をいう。

問5 次の文は、わが国の人口動態統計のうち、小児あるいは母子に関する記述である。  
適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 出生率とは、出生数を人口で割り 100 をかけたものである。
- 2 死亡率は、死亡数を人口で割り 100 をかけたものである。
- 3 合計特殊出生率は、一人の女性が生涯に何人の子を産むか推計したものである。
- 4 合計特殊出生率が3を下回ると、長期的には人口が減少する。
- 5 乳児死亡率とは、出生後 28 日未満の死亡数を出生数で割り 1,000 をかけたものである。

問6 次の文は、小児の標準的な精神運動機能発達についての記述である。適切な記述を  
○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 生後 2 か月頃には首がすわり、固視も 6 週くらいから発達し始める。
- B 生後 3～4 か月頃にはあやすと声をたてて笑う。
- C 生後 7～8 か月頃には一人座りができる。
- D 生後 9～10 か月頃にはずり這いをする。
- E 生後 12 か月頃には安定した歩きをする。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × | × |
| 2 | ○ | × | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ | ○ |

問7 次の文は、小児の生理機能の発達についての記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 脳の機能は、胎児期から既に発達しており、出生時にはほぼ成熟している。
- 2 胎児期の血液の流れすなわち胎児循環と、生後の血液の循環の違いには、肺循環がある。
- 3 乳歯は生後形成され始め、前歯は生後6～8か月頃に生え始める。
- 4 嚥下機能は、生後母乳をすることによって始まる。
- 5 乳児では膀胱に尿が溜まるとその刺激が脳で感知され、脳細胞の指令で排尿がおこる。

問8 次の文は、小児の栄養についての記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 母乳は乳児にとって最も適切な栄養であるが、ビタミンK欠乏の可能性はある。
- 2 母乳には感染防御因子としてIgGが豊富に含まれる。
- 3 小児に必要な栄養素は、カロリー、糖質、タンパク質、脂質である。
- 4 新生児は腸の機能の未熟性のため、母乳中の脂質の吸収が悪い。
- 5 人工栄養（調製粉乳）は、母乳よりもカロリーが高いため肥満になりやすい。

問9 次の文は、手づかみ食べについての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 手づかみ食べは、食べ物を目で確かめて、手指でつかんで、口まで運び口に入れるという目と手と口の協調運動である。
- 2 手づかみ食べは、手でつかむことによって、食べられるものかどうかを判断する能力の発達を促す。
- 3 手づかみ食べは、精神運動機能の発達と密接な関係を有している。
- 4 手づかみ食べのできる食事の工夫が必要であり、おにぎりにしたり、野菜の切り方を適切にするなどの工夫が必要である。
- 5 手づかみ食べは、自分で食べる機能の発達を促す観点からも重要である。

問10 次の文は、子どもに多い症状についての記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 体温は一定の範囲に維持されているが、かぜなどの感染症では防御反応として上昇する。
- B 下痢は、細菌感染によっておこることが多い。
- C 咳は、本来は気道内の刺激を排除する作用を持っている。
- D 嘔吐は、胃の内容物が逆流することをいい、溢乳も含まれる。
- E 頭痛はよくあるが、乳幼児には認められない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B D
- 4 C E
- 5 D E

問 11 次の文は、厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」の感染症対策に関する記述である。誤ったものを一つ選びなさい。

- 1 麻疹に罹患したら、解熱した後3日を経過するまで登園を控える。
- 2 水痘に罹患したら、すべての発疹が痂皮化するまで登園を控える。
- 3 風疹に罹患したら、発疹が消失するまで登園を控える。
- 4 通常のインフルエンザに罹患したら、発症後最低5日間かつ解熱した後2日を経過するまで登園を控える。
- 5 流行性耳下腺炎に罹患したら、耳下腺の腫脹が消失するまで登園を控える。

問 12 次の文は、アレルギー疾患に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A アトピー性皮膚炎は、アトピー素因を背景とした痒みを特徴とする皮膚炎である。
- B 乳幼児の食物アレルギーの原因食物は、鶏卵が最も多い。
- C 乳幼児の食物アレルギーはアトピー性皮膚炎である。
- D 気管支喘息は、急におこる息切れが特徴である。
- E アトピー性皮膚炎の乳幼児には鶏卵を与えない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B D
- 4 C E
- 5 D E

問 13 次の文は、わが国の予防接種に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 3種混合ワクチンとは、ジフテリア、百日咳、破傷風に対するものである。
- B 麻疹ワクチンは第1回目を乳児期に接種する。
- C インフルエンザ菌b型に対するワクチンは髄膜炎予防に有効である。
- D 風疹ワクチンは、中学生の女子に接種する。
- E 水痘ワクチンは満3歳までに接種することが勧奨される。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B D
- 4 C E
- 5 D E

問 14 次の文は、平成 22 年厚生労働省「人口動態統計」による不慮の事故に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 乳児の事故死では、転倒・転落が最も多い。
- 2 1～4歳児の死因のうち先天奇形、変形及び染色体異常を除くと不慮の事故が最も多い。
- 3 1～4歳児の事故死では、不慮の窒息が最も多い。
- 4 乳児の事故死では、風呂場での溺水が、転倒・転落に次いで多い。
- 5 1～4歳児の事故死では、熱及び高温物質との接触が第3位である。



問 15 次の文は、母子保健対策に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 母子保健とは、母性と小児の健康上の問題に対処して、そのQOLの向上を図ることを目的とする。
- B 公的な母子保健活動の基幹となるものは、「母子保健法」である。
- C 母子保健サービスの一環として都道府県が実施主体となるものに乳幼児健康診査がある。
- D マス・スクリーニング検査とは、3歳児健康診査時に行う発達検査である。
- E 就学時健康診断は、地域の保健センターが実施主体である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	×
2	○	×	×	×	○
3	×	○	○	×	×
4	×	×	○	○	×
5	×	×	×	○	○

問 16 次の文は、保育所と、家庭や専門機関や地域との連携に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 保育所は、家庭からの情報を入所時のみでなく、登園時や連絡帳などを利用して日頃から得るようにする。
- 2 保育所からは家庭に、季節に応じた献立、感染症の発生状況、その予防対策などの情報を適宜伝えるようにする。
- 3 保育所は医療機関との連携が大切であり、保育所職員は、医療機関にある園児のカルテ（診療録）を適宜閲覧できる。
- 4 保育所は、保護者の了解を得た後、健診などの母子保健サービス内容が記載されている母子健康手帳を利用すると良い。
- 5 保育所は、災害などの発生に備え、日頃から保護者、近隣の住民、自治体、保健所、医療機関、警察、消防などとの密接な協力や支援にかかわる連携体制を整備しておくようにする。

問 17 次の文は、子どもの糖尿病に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 2型糖尿病は、インスリンの相対的欠乏により生じる代謝異常であり、食事療法と運動療法を行うことが重要である。
- 2 1型糖尿病は、急激に発症することが多く、インスリンの注射による治療が必須である。
- 3 1型糖尿病の子どもは、かぜなどをきっかけに発病時のような高血糖状態になることがあるので、主治医にすぐ連絡ができる体制をとっておくことが必要である。
- 4 2型糖尿病は、診断時、肥満以外ほとんど無症状であるので、無症状の間は治療を必要としない。
- 5 2型糖尿病も含めて糖尿病は、網膜症、腎機能低下、神経障害などの合併症を発生することが多い。

問 18 次の文は、脳性まひに関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 胎内で、あるいは周産期、乳幼児期に種々の原因によって生じた非進行性の中枢性運動機能障害を脳性まひという。
- 2 脳性まひの症状としては、運動発達の遅れ、筋緊張の異常、姿勢の異常、運動の円滑さの欠如などがある。
- 3 発生率は出生 1,000 対 10 くらいであるが、知的障害、てんかん、摂食障害、呼吸障害なども抱えた重複障害が半分以上を占める。
- 4 寝たきりの重複障害児は、座位可能な子どもに比べて嚥下障害、呼吸障害、脊柱の変形、気道感染症などの頻度が高い。
- 5 嚥下障害のため経口摂取ができない場合は、経管栄養を行う。呼吸障害は、舌根沈下、嚥下障害による分泌物貯留、アデノイド肥大などが原因のことが多く、これらの場合は経鼻エアージェットが有効である。

問 19 次の文は、乳幼児の養育とその支援に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 わが国では少子化が進み、出産するまで子どもの世話をしたことのない母親が多くみられるようになってきており、保育士による子育て支援が期待されている。
- 2 子育て相談の実施や、子育て情報・子育て家庭の交流機会の提供は、保育所に期待される役割である。
- 3 子どもの発育・発達の知識を得て、わが子を評価することが育児サークルの第一目的である。
- 4 発育・発達の遅れ、不潔な衣服、無表情、他者への関心が希薄、母子関係が過度に弱いなどは、虐待がある場合にみられることがある。
- 5 子どもは養育者との満足できる関係の中で、人を信頼する感覚が生まれ、発達する。

問 20 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

1歳児担当の保育士に園児の母親から次のような訴えがあった。

「私は、小さい頃母から殴られて育った。子どもが言うことを聞かないとつい叩いてしまいそうになる。虐待してしまうのではないかと不安になる。」

**【設問】**

母親への対応として、保育士がまず行うべきものを一つ選びなさい。

- 1 母親の話をよく聞く。
- 2 保育体験を行い、保育者の子どもへの関わりの様子を知ってもらう。
- 3 母親同士の話し合いの場を設定する。
- 4 虐待の専門家を紹介する。
- 5 母親が一人の時間を持てるように、できるだけ子どもを保育園に預けるように勧める。